令和４年度（２０２２年度）江戸川区立清新第一小学校　（　　算数　　）科　第（　２　）学年

年間指導計画　及び評価規準

【知技】…知識技能　【思判】…思考判断　【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価項目	評価規準
1学期	4	わかりやすく あらわそう たし算の しかたを 考えよう	【知技】	身の回りにある数量を分類整理し，簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりすることができる。
			【思判】	データを整理する観点に着目し，身の回りの事象についてグラフや表を用いて考察している。
			【主体】	身の回りの事象に関心をもち，グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	2位数の加法計算が，1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできるとともに，その筆算の仕方について理解している。
			【思判】	数の仕組みに着目し，2位数の加法計算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。
			【主体】	2位数の加法の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	5	ひき算の しかたを 考えよう	【知技】	2位数の減法計算が，1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできるとともに，その筆算の仕方について理解している。
			【思判】	数の仕組みに着目し，2位数の減法計算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。
			【主体】	2位数の減法の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	6	長さを はかって あらわそう 100より 大きい 数を しらべよう 水の かさを はかって あらわそう	【知技】	長さについて単位と測定の意味や，単位の関係，物差しの目盛りの仕組みを理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，身の回りのものの長さを測定したり，指定された長さの直線をひいたりすることができる。
			【思判】	普遍単位の必要性に気づき，身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ，目的に応じた単位で長さを的確に表現したり，比べたりしている。
			【主体】	身の回りにあるものの長さに関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	3位数について，数の読み方や表し方，数の構成や大小，順序，数の相対的な大きさを理解し，数を書いたり読んだり，数や式の大小・相等関係を，不等号や等号を用いて表したりすることができる。
			【思判】	10や100のまとまりに着目し，十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり，数を相対的な大きさからとらえたりしている。
			【主体】	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	体積について単位と測定の意味や，単位の関係を理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，体積の単位を適切に選択して身の回りにある入れ物に入る水の体積を測定することができる。
			【思判】	長さの学習を基に，普遍単位の必要性に気づき，身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目してとらえ，目的に応じた単位で体積を的確に表現したり，比べたりしている。
			【主体】	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	7	時計を 生活に 生かそう	【知技】	時刻と時間の区別，及び日，時，分の単位やそれらの関係を理解し，時刻や時間を求めたり，表したりすることができる。
			【思判】	時間の単位に着目し，図などを用いて時刻と時間の求め方を考え，説明している。
			【主体】	時刻や時間に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
2学期	8・9	計算の しかたを くふうしよう ひっ算の しかたを 考えよう さんかくや しかくの 形を しらべよう	【知技】	加法の結合法則や（　）の用い方を理解するとともに，簡単な加減法の暗算ができる。
			【思判】	（　）の中を1つの数とみて，式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに，3口の数の加法計算について，数量の関係に着目し，結合法則などを基に工夫して計算している。
			【主体】	加減の計算方法について，計算法則，数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	2位数の加法及びその逆の減法の計算について，1位数などの基本的な計算を基にできることを知り，それらの筆算の仕方について理解し，筆算の手順を基に確実に計算することができる。
			【思判】	既習の筆算を基に，数の仕組みに着目し，2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。
			【主体】	2，3位数の加減の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	三角形や四角形，直角，長方形，正方形，直角三角形の意味や性質を理解するとともに，紙を折って直角を作ったり，長方形や正方形などを作図したりすることができる。
			【思判】	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し，三角形や四角形，長方形や正方形などの特徴を見いだし，説明している。
			【主体】	身の回りにあるものの形の中から，三角形や四角形，長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	10	新しい 計算を 考えよう	【知技】	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り，乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質（乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則）を理解し，乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式で表したり，乗法九九（5，2，3，4の段）を構成し，確実に唱えたりすることができる。
			【思判】	数量の関係に着目し，累加の考えや乗数と積の関係などを基に，乗法九九の構成の仕方を考え表現している。
			【主体】	数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	11・12	九九を つくろう	【知技】	乗法九九について知り，乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに，乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式で表したり，乗法九九（6，7，8，9，1の段）を構成し，確実に唱えたりすることができる。
			【思判】	数量の関係に着目し，乗法について成り立つ性質やきまりを用いて，乗法九九の構成の仕方を考え工夫し，表現している。
			【主体】	数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理や，乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
3学期	1	1000より 大きい 数を しらべよう 長い 長さを はかって あらわそう	【知技】	4位数について，数の読み方や表し方，数の構成や大小，順序，数の相対的な大きさを理解し，数を書いたり読んだり，数や式の大小・相等関係を，不等号や等号を用いて表したりすることができる。
			【思判】	数のまとまりに着目し，十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり，数を相対的な大きさからとらえたりしている。
			【主体】	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	長さについて単位と測定の意味や，単位の関係を理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。
			【思判】	上位単位の必要性に気づき，身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ，既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。
			【主体】	身の回りにあるものの長さに関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	2	図を つかって 考えよう 分けた 大きさの あらわし方を しらべよう	【知技】	加法と減法の相互関係について理解し，加法と減法の相互関係を表した図を用いて，図や式に表し，問題を解決することができる。
			【思判】	数量の関係に着目し，場面を図に表して構造をとらえている。
			【主体】	加法と減法の相互関係に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			【知技】	具体物を操作することなどによって，1/2や1/3などの簡単な分数について知り，いくつかに等分した大きさの1つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。
			【思判】	元の大きさと分けた大きさの関係や，分けた大きさは全て等しいことに着目して分数について考えた，2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。
			【主体】	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
	3	はこの 形を しらべよう	【知技】	箱の形をしたものの構成要素について理解し，正方形や長方形を組み合わせたり，ひごなどを用いたりして，箱の形を構成することができる。
			【思判】	頂点，辺，面などの図形を構成する要素に着目し，箱の形の特徴を見いだし，説明している。
			【主体】	身の回りにあるものの形の中から，箱の形をしたものを見つけ，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。